






[illegible]

リリース項目 ※注1：令和8年3月のシステムリリース項目の一部。技術解説書V2.0.0で更新された箇所のみを抜粋。			技術解説書V2.0.0の該当箇所													
#	項目名	概要	ページ番号	イメージ												
17	アレルギー情報における臨床的状態(clinicalstatus)がactiveである情報のみを臨床情報一覧に出力する	アレルギー情報における臨床的状態(clinicalstatus)がactiveである情報のみを臨床情報一覧に出力する。 ※PDF帳票においては、臨床的状態(clinicalstatus)がactiveである情報のみが出力されるため、ステータスに関する表示欄が削除となる ※XMLにおいては、「臨床的状態(clinicalstatus)」、「確認状況(verificationstatus)」の項目欄が残るが、前者にはactiveが出力されず、後者には何も出力されない	P68 ※検討中の仕様が含まれるためフタベン起りの状態  P70 ※検討中の仕様が含まれるためフタベン起りの状態  P71 ※検討中の仕様が含まれるためフタベン起りの状態													
18	臨床情報一覧における検査情報のstatusによる表示制御	臨床情報一覧における検査情報のstatus要素を「registered(結果未着)」に設定して本サービスに登録した場合、臨床情報一覧において当該項目を出力しない。	P71 ※検討中の仕様が含まれるためフタベン起りの状態	<table border="1"><thead><tr><th>検査</th><th>検査コード</th><th>検査名</th></tr></thead><tbody><tr><td>【出力制御】</td><td>Observation.status.coding.code</td><td>「preliminary(暫定結果報告)」、「final(最終結果報告)」、「corrected(訂正報告)」の検査結果のみを臨床情報一覧のレコードとして表示。</td></tr></tbody></table>	検査	検査コード	検査名	【出力制御】	Observation.status.coding.code	「preliminary(暫定結果報告)」、「final(最終結果報告)」、「corrected(訂正報告)」の検査結果のみを臨床情報一覧のレコードとして表示。						
検査	検査コード	検査名														
【出力制御】	Observation.status.coding.code	「preliminary(暫定結果報告)」、「final(最終結果報告)」、「corrected(訂正報告)」の検査結果のみを臨床情報一覧のレコードとして表示。														
19	臨床情報一覧における感染症情報のstatusによる表示制御	臨床情報一覧における感染症情報のstatus要素を「registered(結果未着)」、「cancelled(中止)」に設定して本サービスに登録した場合、臨床情報一覧において当該項目を出力しない。	p69 ※検討中の仕様が含まれるためフタベン起りの状態	<table border="1"><thead><tr><th>感染症</th><th>感染症コード</th><th>感染症名</th></tr></thead><tbody><tr><td>【出力制御】</td><td>Observation.status.coding.code</td><td>「preliminary(暫定結果報告)」、「final(最終結果報告)」、「corrected(訂正報告)」の検査結果のみを臨床情報一覧のレコードとして表示。</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>検体採取日時</th><th>検体採取日時コード</th><th>検体採取日時名</th></tr></thead><tbody><tr><td>Observation.effectiveDateTime</td><td>YYYY年MM月DD日HH時mm分ss</td><td>「YYYY年MM月DD日HH時mm分ss」の形式で表示。 ※時表示欄に「-」が追加表示。</td></tr></tbody></table>	感染症	感染症コード	感染症名	【出力制御】	Observation.status.coding.code	「preliminary(暫定結果報告)」、「final(最終結果報告)」、「corrected(訂正報告)」の検査結果のみを臨床情報一覧のレコードとして表示。	検体採取日時	検体採取日時コード	検体採取日時名	Observation.effectiveDateTime	YYYY年MM月DD日HH時mm分ss	「YYYY年MM月DD日HH時mm分ss」の形式で表示。 ※時表示欄に「-」が追加表示。
感染症	感染症コード	感染症名														
【出力制御】	Observation.status.coding.code	「preliminary(暫定結果報告)」、「final(最終結果報告)」、「corrected(訂正報告)」の検査結果のみを臨床情報一覧のレコードとして表示。														
検体採取日時	検体採取日時コード	検体採取日時名														
Observation.effectiveDateTime	YYYY年MM月DD日HH時mm分ss	「YYYY年MM月DD日HH時mm分ss」の形式で表示。 ※時表示欄に「-」が追加表示。														
20	臨床情報一覧における廃止した医療機関が登録した情報の区別	臨床情報一覧において、廃止済みの医療機関が登録した情報については、登録元の医療機関名称を「[廃]〇〇病院」として表示する。	p111	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 長期保存フラグと廃止医療機関名の表示 長期保存フラグが付与されると、過去に廃止された医療機関で登録された臨床情報が更新されないまま長期臨床情報一覧に表示され続ける場合があります。そのため、本サービスで出力される臨床情報一覧には、医療機関等マスタに登録された廃止情報に基づき、以下のルールで医療機関名を表示します。<ul style="list-style-type: none"><li>廃止年月日が登録されている医療機関: 廃止年月日以降は、医療機関名の先頭に「[廃]」を付けて表示します。</li><li>廃止予定日が到来日として登録されている場合: 当該廃止予定日を過ぎた時点から「[廃]」を付与して表示します。</li><li>最期の届け出が行われている医療機関: 廃止年月日が入力されていても、名称・番号が継承されるため「[廃]」は付けません。</li></ul></li></ul>												
21	診療情報提供書の宛先に設定できるかどうかを制御する「利用有無フラグ(本サービスの利用状況確認フラグ)」のロジック変更	文書情報の登録においては宛先とした紹介先医療機関が本サービスを利用しているかどうかを確認するために、「電子カルテ情報共有サービス利用有無フラグ」(施設利用状況照会機能)の外部インターフェイスあるいは「電子カルテ情報共有サービス向け医療機関等マスタ」から取得できるフラグ情報)を確認する必要があります。当システムが「利用する」に設定した一部を変更した。 具体的には、医療機関等が医療機関等向け総合ポータルサイトで行う本サービスの利用申請が承認された日から、医療機関等が医療機関等向け総合ポータルサイトで登録した本サービスの運用開始日に変更となった。	P102	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 利用有無フラグが「利用する」となる条件 利用有無フラグが「利用する」と判定されるための条件は次のとおりです。<ul style="list-style-type: none"><li>医療機関等が医療機関等向け総合ポータルサイトで登録した本サービスの運用開始日を過ぎていること</li><li>資格確認期限の環境設定画面で本サービスの設定を「利用する」にしていること(設定後24時までに再起動した場合、翌日7時以降に反映)</li></ul>なお、返却される医療機関コードは「医科」の保険医療機関番号のみであるため、医科歯科併設医療機関へ送付する場合も医科の番号を宛先に指定してください。</li></ul>												
22	文書情報変更時における同意情報の継承	一度、同意済のステータス「紹介先が閲覧可能」になった文書情報について、その後文書変更を行ったとしても、変更内容が患者や紹介先医療機関の変更でない限り同意のステータスは同意済のステータス「紹介先が閲覧可能」が閲覧可能を引き継ぐ。	P114 ※検討中の仕様が含まれるためフタベン起りの状態	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 診療情報提供書における同意取得について 同意の取得方法は、3パターン「設定」あり。医療等が患者本人に同意取得有無、及び同意の有無が同意可能になるタイミングを報告します。<ul style="list-style-type: none"><li>患者が同意(パターン)を選択した場合、文書情報に同意のステータス「紹介先が閲覧可能」を付与すること。紹介先医療機関等における同意を許可します。</li><li>一方で、患者の拒否等によって後から紹介先を変更したいなどの理由で、患者が同意(パターン)を選択した場合、同意のステータスは「閲覧保留」となります。</li><li>いずれのパターンにおいても、一度「取得済」ステータスになったものを、「閲覧保留」のステータスに戻すことはできません。同意取得済みの利用方針については、<ul style="list-style-type: none"><li>なお、利用方針は、一度「取得済」ステータスになった後、「取得済」ステータスに引き継がれます。同意(パターン)が必要になります。同意(パターン)を有効にしている場合は、同意取得ができません。同意(パターン)を選択しない限り、紹介先医療機関等における同意ができません。医療等の同意有無を患者に確認する際にその点を留意する必要があります。以下に同意取得に関するフローチャートを示します。</li></ul></li></ul></li><li>同意取得の単位としては、全てまたは複数の医療機関等での診療情報提供書に対して一括で確認するものではなく、登録する診療情報提供書単位で、確認確認が必要です。</li><li>なお、一度、同意済のステータス「紹介先が閲覧可能」になった文書情報について、その後文書変更を行ったとしても、変更内容が患者や紹介先医療機関の変更でない限り同意のステータスは同意済のステータス「紹介先が閲覧可能」で継承されます。</li></ul>												



リリース項目  
※注 1：令和8年3月のシステムリリース項目の一部。技術解説書V2.0.0で更新された箇所のみを抜粋。

※

項目名

概要

30

文書情報からの処方情報抽出および臨床情報一覧への出力の停止

文書情報からの処方情報の抽出を停止し、臨床情報一覧に処方情報を出力しない。  
の停止

技術解説書V2.0.0の該当箇所

ページ番号

イメージ

P2

1. 臨床情報としての処方情報連携の取りやめ

電子処方箋が院内処方を取り扱う制度設計となつたことから、処方情報を診療情報提供系・退院時サマリーから抽出し臨床情報として共有する方式を廃止しました。  
これにより、臨床情報一覧には処方情報が表示されなくなります。

図 15.臨床情報一覧のF2キー機能の実装イメージ（レイアウトは今後の変更の可能性あり）

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果

臨床情報一覧

検索条件

検索ボタン

検索履歴

検索結果



技術解説書v2.0.0更新箇所のうち令和8年10月のシステムリリース予定項目に係る記載一覧 ※検討の結果開発・リリースされない可能性のある項目を含む。また今後追加となる項目もある点に留意

リリース項目（予定）		技術解説書v2.0.0の該当箇所	
※注1：令和8年10月のシステムリリース予定項目の一部。技術解説書v2.0.0で更新された箇所のみを抜粋。 ※注2：検討の結果開発・リリースされない可能性のある項目を含む。 ※注3：令和8年10月のシステムリリース予定項目は今後追加となる可能性あり			
#	項目名	概要（予定）	ページ番号 イメージ
1	FHIRデータに記録されるデータ登録元医療機関コードが同一文字列であることのアドオンチェックの例外条件追加（新旧医療機関コード混在を許容する）	電子証明書中とFHIRデータにおけるデータ登録元医療機関コードの一致チェックに関して、承認関係のある新旧コードがそれぞれ設定されていても問題なく登録できる。 ただし、上記の前提として、FHIRデータ内に記録されるデータ登録元医療機関コードは同一文字列であることの前提を担保するアドオンチェックを行っている。  FHIRデータ内に記録されるデータ登録元医療機関コードのなかでも、新旧の医療機関コードの混在が考えられることから、この度、当該「同一文字列であること」のアドオンチェックのなかで、例外処理として新旧医療機関コードの混在を許容する仕組みを実施する。	P107  ■ 保険医療機関番号変更時の新旧コードの取扱い（新旧紐づけ対応） 開設者変更や移転等により保険医療機関番号が変更となった場合で、継承の届出が医療機関等向け総合ポータルサイトにて行われているときは、当該医療機関の新旧の保険医療機関番号は同一の医療機関のものとしてみなされます。このとき、FHIR データ内部の、データ登録元の医療機関番号を設定する箇所が旧番号でも、引き続きデータ登録・更新を行うことが可能です。 この仕組みにより、保険医療機関番号変更後も、旧コードで登録されたデータの整合性を保ちながら、運用を継続して行うことができます。 なお、電子証明書（JWT）に設定する保険医療機関番号については、上記と異なり、旧番号は「承認元医療機関」の廃止日から 120 日間」のみ設定可能となりますので留意ください。
2	文書情報における「閲覧保留」の仕組みの利用方針見直し	閲覧保留の仕組みの利用方針について見直し、必要に応じて基盤の改修・リリースを行う。 ただし、現時点で方針は決定していないため、今後厚生労働省において検討を行い、別途公表予定。	P114 ※検討中の仕様が含まれるためワンプン括弧の状態  P115 ※検討中の仕様が含まれるためワンプン括弧の状態  P130 ※検討中の仕様が含まれるためワンプン括弧の状態  P139 ※検討中の仕様が含まれるためワンプン括弧の状態

